第５回

eco

アクション21

環境活動レポート

令和元年　１１月29日

（対象期間：H30年7月1日～平成31年6月30日）

有限会社アルファースタジオ

〈本社〉〒419-0205

静岡県富士市天間195-1

TEL：0545-71-0440 FAX：0545-71-6486

目　次

1	・組織の概要	2
2	・対象範囲、対象期間、推進組織、役割分担	3
3	・環境方針	4
4	・環境目標	5
5	・環境活動計画	6
6	・環境活動計画取組結果の評価	7
7	・環境目標の達成状況（実績）	8
	-0…二酸化炭素排出量	
	-1…電気使用量の削減	9
	-2…燃料の削減（燃料油）	10
	…燃料の削減（車両の燃費）	11
	-3…廃棄物排出量の削減	12
	（廃棄物・一般廃棄物）	
	-4…総排水量の削減	13
	-5…化学物質使用量削減	14
	-6…グリーン購入実績	15
	-7…フロン排出抑制法	16
	-8…苦情・事故の削減	17
8	・環境関連法規への違反、訴訟等の有無	18
9	・環境上の緊急事態への準備及び対応	19
10	・代表者による全体評価と見直し	20
11	・環境への取組み	21_22

ALPHA STUDIO

1_組織の概要

（1）会社名　有限会社アルファースタジオ

（2）代表者名　代表取締役社長　野村 秀樹

（3）所在地
①本　　社：〒419-0205　静岡県富士市天間195-1
②東京営業所：〒135-0042　東京都江東区木場6-9-5　山本工業ﾋﾞﾙ 1F
③福井営業所：〒910-3143　福井県福井市砂子坂町11-22

（4）設立日　昭和６１年２月

（5）資本金　５００万円

（6）事業内容
商業施設および店舗の企画・デザイン・設計・施工
住宅のデザイン・設計・施工
家具のデザイン・製作

（7）事業規模

	単 位	H29/6月	H30/6月	H31/6月
売　上　高	百万円	442	585	692
工　事　件　数	件	199	263	272
従　業　員　数	人	14	14	16

（8）環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者　設計室　佐野 一郎
環境管理事務局　設計室　鈴木 志乃
総務　高野美穂

連絡先
ＴＥＬ：０５４５-７１-０４４０
ＦＡＸ：０５４５-７１-６４８６
E-Mail：info@alpha-studio.co.jp

（9）許可の内容
内装仕上工事業静岡県知事許可　第０２５６９９号
建築工事業静岡県知事許可　第０２５６９９号
住宅瑕疵担保責任保険事業者届出済　No.２１０１４３２５
日本自然素材研究開発協議会施工店
インテリアプランナー協会認定

（１０）保有機材

	機材	数
1	丸のこ盤	4
2	かんな盤	3
3	帯のこ盤	1
4	NCルーター複合機	1
5	パネルソー	2
6	ワイドベルトサンダー	1
7	ユニバーサルサンダー	1
8	縁貼り機	1
9	フラッシュプレス	2
10	3t平ボディートラック	1
11	ワンボックス車	4
12	リーチフォークリフト	1

2_対象範囲・対象期間・推進組織・役割分担

1）　対象範囲

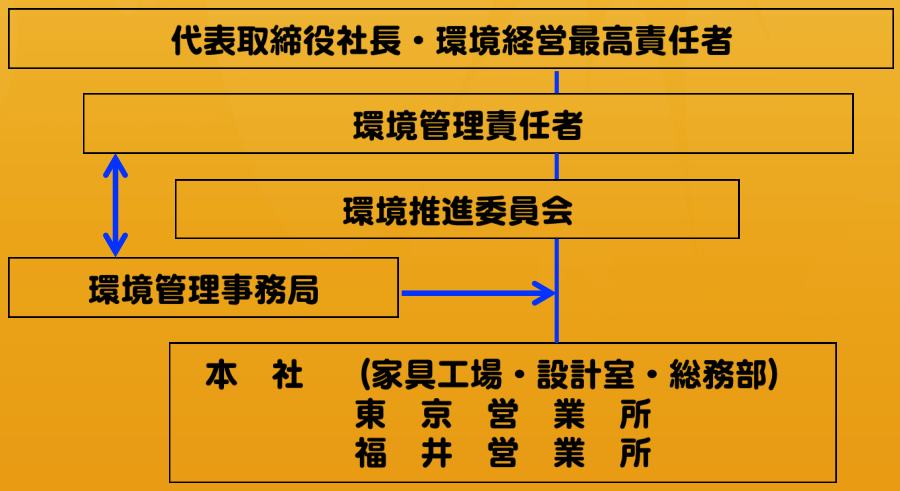
①適用する事業所・本社(家具工場・設計室・総務部)・東京営業所・福井営業所

②適用構成員　　・当社役員、従業員(派遣社員、パート含む)

（2）　レポート対象期間

平成30年７月１日～平成３１年６月３０日

（3）　推進組織



（4）　役割分担

最高責任者 （社長）	環境マネジメントを計画的に実施する為の内容を確認、決定する。 ①　管理責任者をはじめ必要な責任者を任命する。 ②　システムの構築・運用・維持に必要な経営諸資源を準備する。 ③　基本理念・基本方針を制定し基本的な環境目標を設定する。 ④　システムの構築・運用に関する情報を収集し、システム全体の見直しを行い、必要であれば改定を指示する。
環境管理責任者	環境マネジメントシステムの推進・維持をする。 ①　経営資源の合理的・効果的な運用を図り、環境経営に関する委員会組織（推進委員会）を運営する。 ②　最高責任者による見直しのための情報として、システムの構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。
推進委員会	環境管理責任者を委員長として（随時）実施する。 ・　各GLで構成し環境マネジメントシステム及び環境改善に関する会議を実施する。
事務局	環境管理責任者を全面的に補佐する。

有限会社アルファースタジオの環境方針

基本理念

有限会社アルファースタジオは、企業活動の全域において、人が自然に集まり、人にも環境にも優しい『安全・安心で快適な空間』　を提案することで、企業市民として社会的責任を果たしてまいります。

行動指針

当社は、すべての事業活動が環境に何らかの影響を与えていることを認識した上で、以下の環境保全活動を推進します。

1. 私たちは自社に関する法規制、協定を遵守致します。
2. 私たちは、二酸化炭素の削減を継続的に実施します。
3. 私たちは、建築及び家具製作において、お客さまの立場で企画設計を行い、正確な作業を実施することで、お客さまに安全と安心を提供いたします。
4. 私たちは、お客さまから求められた仕事をするだけでなく、常にプラスαを提案して、仕事のレベルを向上させます。
5. 私たちは、お客さまからのあらゆる要求事項に対して、簡単に「できない」と言いません。常に挑戦する精神を持ち続けます。
6. 次の事項を重点的なテーマとして、環境目標を設定し、継続的に効果的な取組みを行います。
   - ① 「環境への負荷チェック」の結果、著しい項目に対する改善目標管理。特に化石燃料・電気使用量の削減を実施します。
   - ② 廃棄物排出については分別を心掛けるとともに、リサイクル活動を活性化　していきます。
   - ③ 総排水量、化学物質使用量については目標管理とせず、使用量のみを把握します。
   - ④ グリーン購入を積極的に推進します。
   - ⑤ 品質管理の徹底が環境経営に資するという考えのもと、クレーム対応に対しては誠意をもって取り組み、顧客満足度を向上させていきます。
7. 環境教育･訓練、社内広報活動の実施により、全ての構成員に環境方針を周知徹底すると共に、環境保全に関する意識を高め、社内における環境保全状況の知識･認識の向上を図ります。
8. この環境方針は、社外の人にも公開します。

平成27年7月1日制定
有限会社アルファースタジオ
代表取締役　野村 秀樹

4_環境目標

当社の中長期の目標は以下の通りである

【負荷削減目標】

項目			単位	H29年度 基準年（実績）	H30年度 目標	R1年度 目標	R2年度 目標
二酸化炭素	二酸化炭素削減		Ｋｇ－ＣＯ２	71,057	70,346	69,643	68,947
		購入電力	ＫＷＨ	40176	39774	39376	38983
		ガソリン	Ｌ	6423	6359	6295	6232
		灯油	Ｌ	1849	1831	1812	1794
		ＬＰＧ	ｋｇ	29.2	28.9	28.6	25.8
		軽油	Ｌ	13523	13388	13254	13121
廃棄物	一般廃棄物の削減		Ｋｇ	1576	1560	1545	1529
	建設副産物の削減		kg	152937	151418	149894	148395
水道使用量の削減			㎥	180	178	176	174
事務用品のグリーン購入率向上				―	グリーン購入の推進		
化学物質使用量の把握			Ｋｇ	1.950	実績把握		

【経営上の目標】

No.7

苦情・事故の削減

今後も、苦情・事故の件数0件を維持する。

※　No.2・No.7については、平成27年度の実績値を基準としその実績からの目標とする。

5_環境活動結果

作成日	環境管理責任者	環境管理事務局
H31. 7.1	佐野 一郎	鈴木 志乃

平成30年度（H30.6～H31.7）の活動計画は以下のとおりである。

環境活動計画	推進責任者	推進内容	実施予定
No.1 **電力使用量の削減**	佐野泰子 佐田　健 小泉正晴 鈴木大助	【全部署】〔維持管理〕 ・長時間未使用のﾊﾟｿｺﾝ・ｺﾋﾟｰ機等の電源OFF ・退社時のﾊﾟｿｺﾝ・ｺﾋﾟｰ機の電源OFF確認 ・節電ﾓｰﾄﾞの利用 ・ﾄｲﾚ不使用時、通路照明不要時の消灯 ・会議室、応接室等の不使用時の消灯 ・その他不使用場所の消灯・減灯 【その他】 ・適正な室温（夏期28℃±1℃、冬期20℃±1℃）の維持 ・節電対応型機種への変更ならびに導入の検討	7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 電力使用量削減 ﾊﾟﾄﾛｰﾙのﾁｪｯｸｼｰﾄ → ﾁｪｯｸｼｰﾄの継続 項目の見直し 夏期 28℃±1℃ → 冬期 20℃±1℃ →
No.2 **燃料油使用量の削減**	鈴木志の 佐田　斉 鈴木大助	【全部署】 ・エコドライブの推進 →急発進、急ブレーキはしない →加減速の少ない運転をする。など ・配送ルートの効率化 ・運転記録の確認と指導 ・運転日報の作成	ｴｺﾄﾞﾗｲﾌﾞ推進 → ﾁｪｯｸ・指導
No.3 **廃棄物排出量の削減とリサイクル**	高野和弘 望月敏也	【全部署】〔維持管理〕 ・定められた方法に従って分別 ・種類毎の廃棄物置場に収集、分別 ・各廃棄箱に表示 ・混合物分別によるリサイクル化向上	周知徹底 →
No.4 **総排水量の維持管理**	野村節子 佐田　健	【全部署】〔維持管理〕 ・洗車時の節水 ・洗い物、お茶出し等の節水 ・使用後の蛇口の開閉確認 ・水漏れチェック	周知徹底 →
No.5 **化学物質使用量の維持管理**	鈴木敬歩	【全部署】〔維持管理〕 ・在庫管理の徹底	在庫管理の徹底 →
No.6 **グリーン購入の推進**	鈴木敬歩 鈴木大助	【全部署】 ・グリーン購入リストの作成 ・環境への負担が少ないものを進んで購入 ・導入コスト削減に向け業者と交渉 ・情報収集を継続的に行う	進捗管理 →
No.7 **苦情・事故の削減**	佐野一郎 滝　浩司	【全部署】 ・報告、連絡、相談の徹底 ・事故、クレームデータの作成 ・過去の事故、クレームリストの作成 ・要員分析、対策立案、責任者評価有効性検証 ・事故、クレーム会議での情報交換	事故・ｸﾚｰﾑﾘｽﾄ → 定期的に会議を実施

6_環境活動計画取組結果の評価

平成30年度（H30.7～H31.6）
の取組結果と評価は以下のとおりである

◎→出来ている
○→改善されている
△→現状維持
×→悪化している

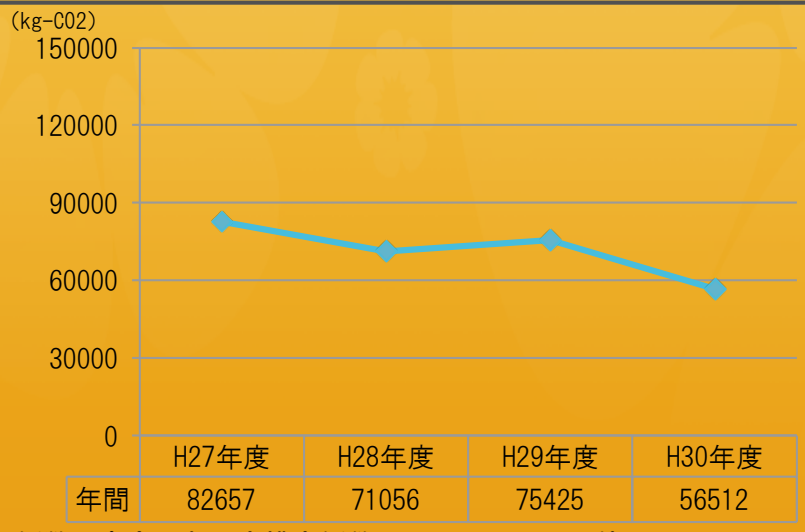
環境活動計画	推進責任者	推進内容	取組評価	次年度計画
電力使用量の削減	鈴木志乃 橋本沙希 鈴木大助	【全部署】 ・長時間未使用のﾊﾟｿｺﾝ・ｺﾋﾟｰ機等の電源OFF ・退社時のﾊﾟｿｺﾝ・ｺﾋﾟｰ機の電源OFF確認 ・節電ﾓｰﾄﾞの利用 ・ﾄｲﾚ不使用時、通路照明不要時の消灯 ・会議室、応接室等の不使用時の消灯 ・その他不使用場所の消灯・減灯 【その他】 ・適正な室温（夏期28℃±1℃、冬期20℃±1℃）の維持 ・節電対応型機種への変更ならびに導入の検討→NCﾙｰﾀｰ複合機の入替	7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 ◎	継続
燃料油使用量の削減	高野和弘 村松瑠果 鈴木敬歩	【全部署】 ・エコドライブの推進 →急発進、急ブレーキはしない →加減速の少ない運転をする。など ・配送ルートの効率化 ・運転記録の確認と指導 ・運転日報の作成	◎ ◎	継続
廃棄物排出量の削減とリサイクル	小泉正晴 漆畑悠	【全部署】 ・定められた方法に従って分別 ・種類毎の廃棄物置場に収集、分別 ・各廃棄箱に表示 ・混合物分別によるリサイクル化向上	◎ ◎	継続
総排出量の維持管理	望月敏也 高野美穂	【全部署】 ・洗車時の節水 ・洗い物、お茶出し等の節水 ・使用後の蛇口の開閉確認 ・水漏れチェック	◎ ◎	継続
化学物質使用量の維持管理	漆畑悠 橋本沙希	【全部署】 ・在庫管理の徹底	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	継続
グリーン購入の推進	佐野泰子 高野美穂	【全部署】 ・グリーン購入リストの作成 ・環境への負担が少ないものを進んで購入 ・導入コスト削減に向け業者と交渉 ・情報収集を継続的に行う	△ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ ◎	継続
フロン排出制法	佐野一郎 高野美穂	【全部署】 ・3ヶ月に一度エアコンチェックを行う	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	継続
苦情・事故の削減	佐野一郎 滝　浩司	【全部署】 ・報告、連絡、相談の徹底 ・事故、クレームデータの作成 ・過去の事故、クレームリストの作成 ・要員分析、対策立案、責任者評価有効性検証 ・事故、クレーム会議での情報交換	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ― ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	継続

※上記活動計画の実施者は全社員

7_環境目標の達成状況

環境への負荷の状況（取りまとめ表）

30年度二酸化炭素実績（7月～6月末）
目標値70.346kg-CO2



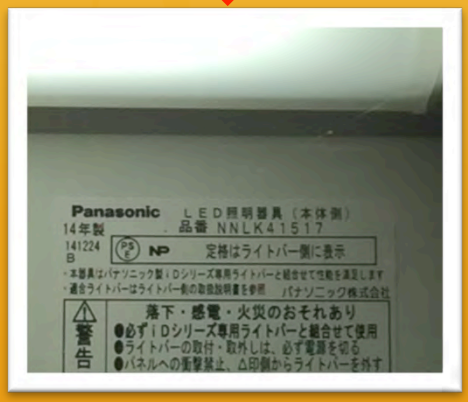
※係数は東京電力の実排出係数　０．５０６　を使用

《評価》
基準年度比率：-25%
仕事量の増加した
効率化により目標達成

目標と過去3年間の比較その内訳（7月～6月末）

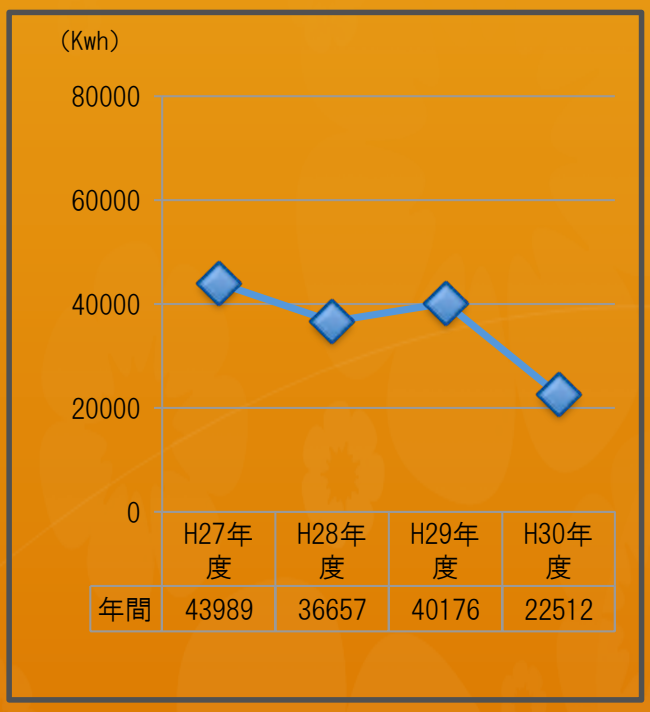
Kg_CO 2	27年度	28年度	29年度基準	30年度	基準年度比率
購入電力	22258. 43	18548. 45	20329. 05	11391. 07	-43.0%
灯油	3939. 74	3538. 54	4607. 57	2736. 13	-40.6%
液化石油ガス (LPG)	80. 15	113. 09	87. 65	33. 1	-62.0%
ガソリン	10907. 15	14115. 7	14912. 02	12160. 8	-18.0%
軽油	33777. 81	34741. 02	35488. 94	30124. 79	-15.0%
排出量合計	82657. 58	71056. 78	75425. 23	56512. 22	**25.80%**

電気使用量の状況



不良となった照明器具の交換時期にあたり、工場と2階事務所入り口の照明は一部LED器具を導入した。また2階設計室内の照明もLED器具に近々交換する

過去3年間と30年度の比較（7月～6月末）

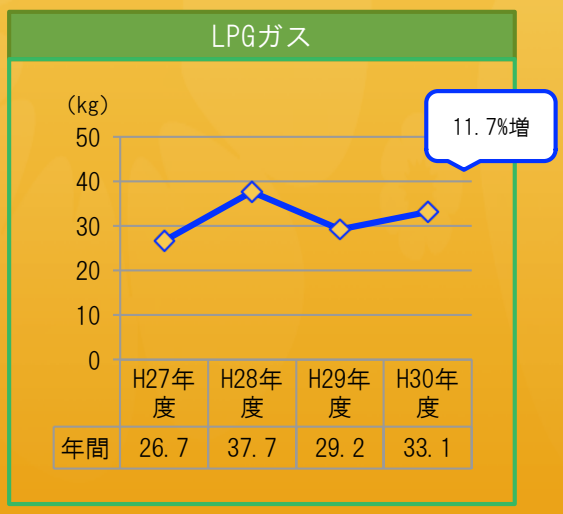


トイレ改装し便器を節水型と交換中

《評価》
基準年度比-44%
省エネ機器の導入と節電活動の結果目標達成

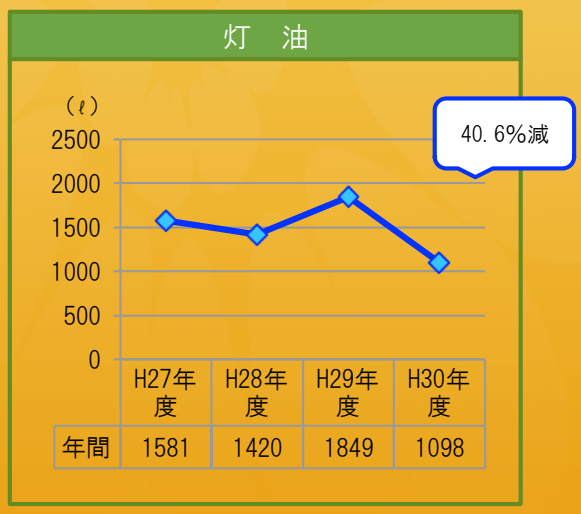
化石燃料（LPGガス・灯油・軽油・ガソリン）消費量

過去3年間と30年度の比較（7月～6月末）



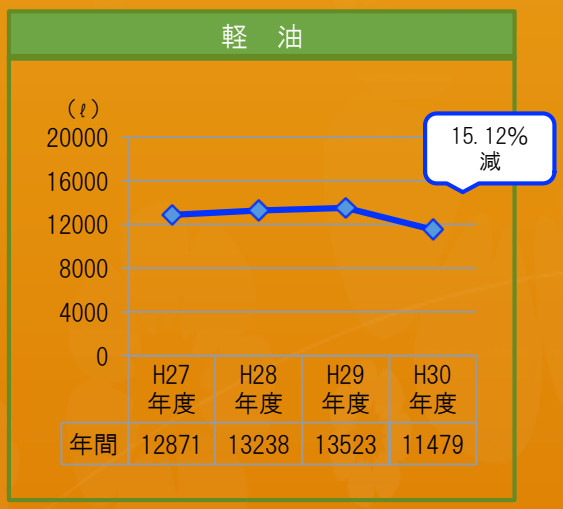
《評価》

従業員増加と仕事量の増加の為、UPとなる



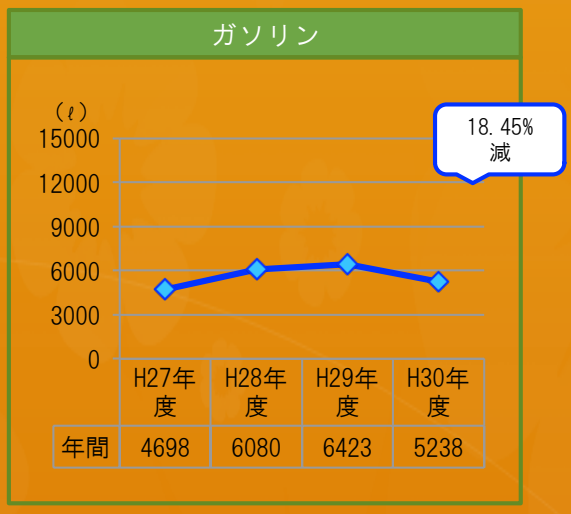
《評価》

現場での作業が多く暖房器具をあまり使用しなかった為減
寒さ対策にはインナーを着用した為



《評価》

安全運転とエコドライブの徹底により減



《評価》

安全運転とエコドライブの徹底により減

車両の燃費状況

平成30年度の各車両の月別燃費及び1年間の平均燃費と結果

	軽　　油						ガソリン			
	車両1	車両2	車両3	車両4	車両5	車両6	車両7	車両8	車両9	車両10
7　月	10.9	10.61	9.31	12.43	–	–	10.42	12.88	10.9	13.68
8　月	10.36	10.45	7.33	15.83	6.38	13.66	14.58	17.16	9.6	14.51
9　月	–	11.05	8.48	5.87	–	13.14	9.95	10.06	8	16.82
10　月	14.46	28.4	18.81	11	10.03	15.94	14.91	17.07	11.2	12.6
11　月	16.04	25.46	13.23	18.14	7.24	21.77	39.02	3.18	11.28	14.2
12　月	13.82	11.86	12.8	30.18	22.8	3.4	10.73	–	25.94	15.32
1　月	27.68	10.62	6.71	18.14	6.79	25.57	7.42	1.17	11.41	13.99
2　月	18.96	17.96	17.07	21.47	5.9	16.17	19.69	12.93	11.29	12.65
3　月	23	10.49	10.46	13.7	8.4	13.43	4.84	13.52	14.11	13.4
4　月	17.86	12.18	5.88	22.05	–	8.27	20.61	2.87	12.95	16.21
5　月	28.77	9.18	14.58	22.65	23.79	11.21	15.36	9.84	14.14	13.38
6　月	2.93	11.93	9.48	22.09	6.99	32.83	15.18	19.49	10.53	14.98
12ヶ月の平均値	15.398	14.182	11.178	17.795	8.193	14.615	15.225	10.014	12.612	14.311
30年度目標燃費	30 年 度 比 より向 上 さ せ る 。									
目標値（平均）	12.60	12.00	11.41	12.46	10.30	8.31	11.87	13.47	11.54	13.52
結果	2.8	2.2	–0.2	5.3	–2.1	6.3	3.4	–3.5	1.1	0.8

常時使用することの無い車両に関しては燃費の計算がでない月もあるが
一年間記録を付けて基準となる平均燃費を知る事ができた。
３１年度は、安全運転とエコ運転をこころがけ燃費向上に努めると共に
買い替え時期にきている車両については環境配慮型車両を検討する。

産業廃棄物排出量の状況

過去3年間と30年度の比較（7月～6月末）

平成30年度の産業廃棄物の各排出量/kg

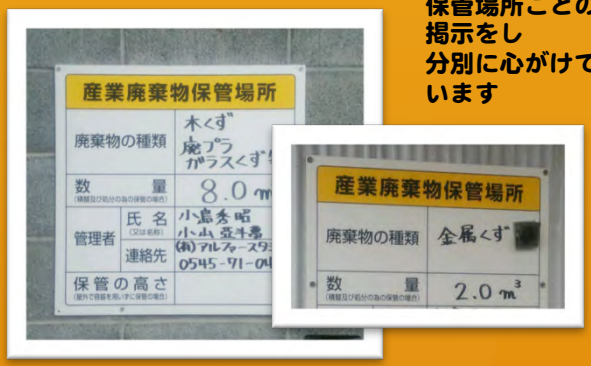
	30年度
がれき	28741
金属屑	23.865
木屑	51600
紙くず	6336
ガラス屑 コンクリート	1940
廃プラ	6173
石膏ボード	9540
総排出量	104354

※赤字…前年度より増えたもの

《評価》石膏ボードが増加したが
全体では目標達成

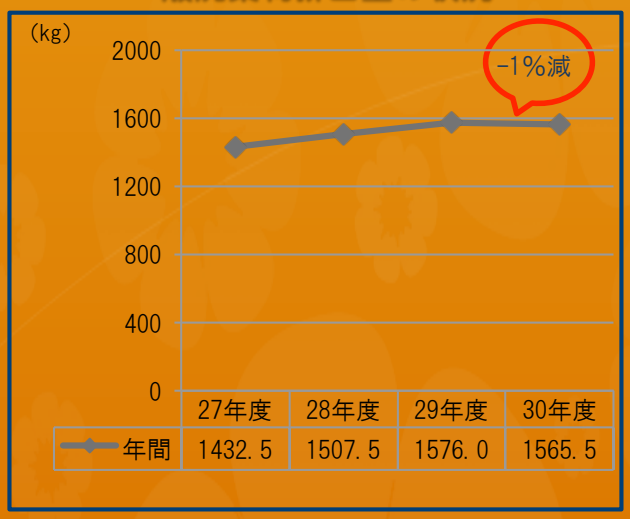
工場で木材を削った際に出る木屑は分別し一部を農場を持つ方へ引取をしてもらいます。

動物たちの飼育に役立ててもらいます。



保管場所ごとの掲示をし分別に心がけています

一般廃棄物排出量の状況



平成30年度の一般廃棄物の各排出量/kg

	排出量（kg）
コピー用紙	235
段ボール	896
新聞	201.5
かん	128
ペットボトル	40
その他の可燃ごみ	65
総排出量	1565.5

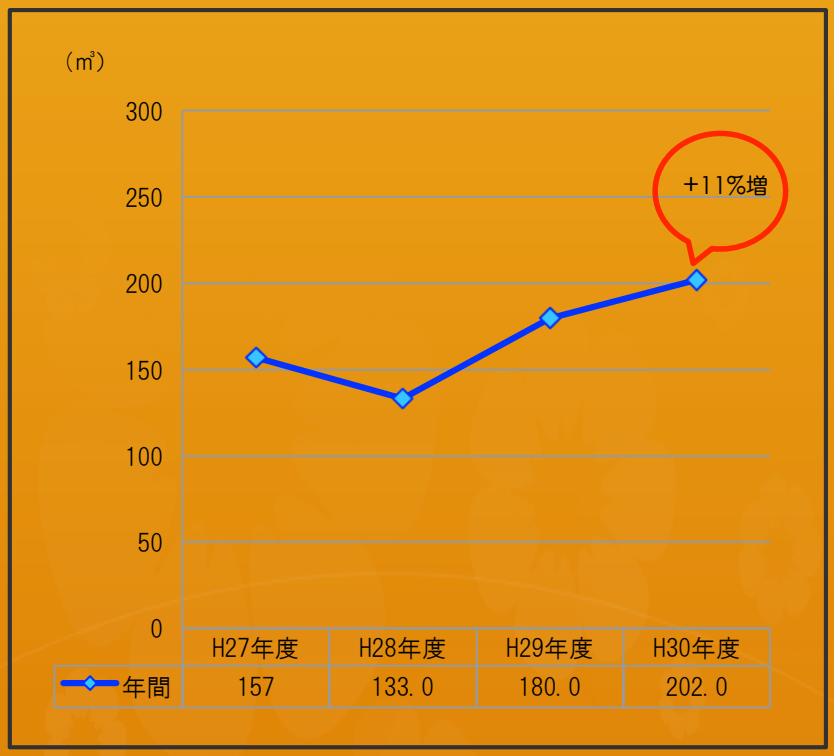
《評価》 廃棄物排出量：目標達成

総排水量の状況

総排水量削減

当社が使用する水使用量は、業務内容及び業務量に伴って増減するため削減目標はたてない。
節水に努めながら、使用量のみを把握する。

注意書きをし常閉め忘れに
心がけるようにしています

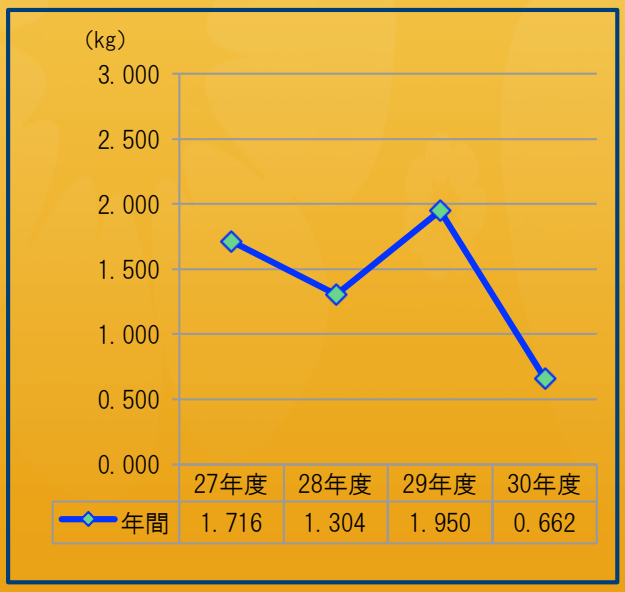


《評価》従業員増加と仕事量の増加の為、水使用量は大幅UPとなる

《是正》　節水の徹底

化学物質使用量の状況

過去3年間と30年度の比較（7月～6月末）



化学物質については少量のため目標を定めず
使用量の把握をした

**化学物質使用量　　《評価》在庫を厳重にチェックし、
無駄のないように使用した。**

化学物質使用量削減

当社で使用する化学物質に「PRTR法」に該当するものはごく少量のものを除いてほとんど無いため使用量のみを把握する。

グリーン購入実績

グリーン購入比率の向上

当社ではグリーン購入法で定められた製品を積極的に購入する。
但し、同じ価格以下で購入することが大前提であり、割高になる製品は購入しない。
数値目標を定めない。

事務用品のグリーン購入は適時購入している為目標は設定しない

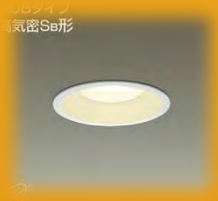
社内使用品

テプラ

複合機

施工店舗・住宅採用製品

ダウンライト照明



ペンダントライト

その他
カーペットの下に敷くダイウレシート等も使用しています。

-新しく購入した製品-

フラットファイル

再生トイレットペーパー

家具用フェルトシート

フロン排出抑制法（エアコン簡易点検）

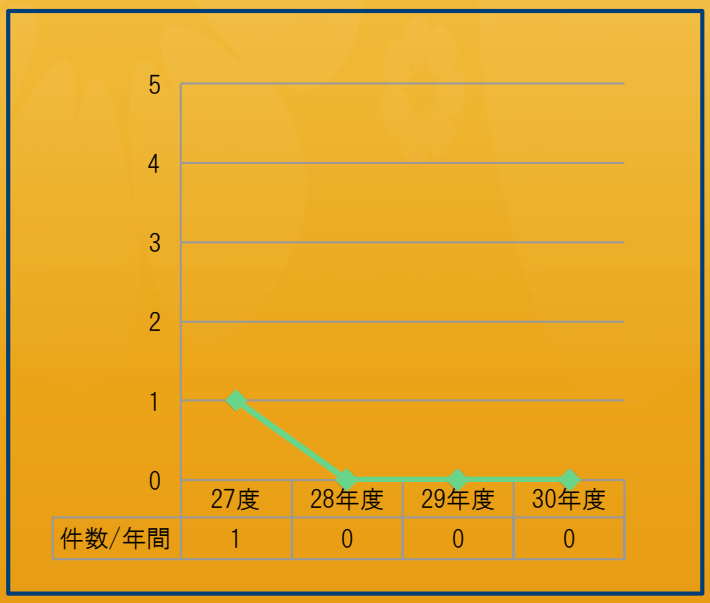
H29年～H30年6月

チェック実施日	9月	12月	3月	6月
①事務所　北側	2018/9/3	2018/12/14	2019/3/5	2019/6/12
②食堂　西側	2018/9/3	2018/12/14	2019/3/5	2019/6/12
③工場裏　東側	2018/9/3	2018/12/14	2019/3/5	2019/6/12
④工場裏　真ん中	2018/9/3	2018/12/14	2019/3/5	2019/6/12
⑤工場裏　西側	2018/9/3	2018/12/14	2019/3/5	2019/6/12

3ヶ月に一回エアコンチェックを行う

苦情・事故

過去3年間と30年度の比較（実績値/7月～6月末）



内容	対応

今後の対応策

※今回も0件であったが、今後も家具製品等の出荷前の製品チェックや、施工現場の引き渡し前の施工精度のチェックを徹底し、<苦情・事故>の発生防止に努める。

8　環境関連法規への違反、訴訟等の有無

（1）環境関連法規の遵守・訴訟等の有無
環境関連法規制の遵守状況を確認した結果、違反はなかった。また関係機関から特に指摘等も無かった。
訴訟等も同様になかった。

（2）当社が適用される主な環境関連法規及び評価は以下の通りです。

環境法規制等の名称	当社の現状	規制対象数値	要　求　事　項	遵守状況
浄化槽法	35人槽	500人槽まで	①　設置届出 ②　浄化槽管理者の選任 ③　法定検査（11条検査） ④　保守点検・定期清掃（年1回）	→　○ →　○ →　○ →　○
騒音規制法	①丸のこ盤4台　2.2kw ②かんな盤3台　1.5kw ③帯のこ盤1台　3.7kw ④集じん施設1機　5.5kw ⑤空気圧縮機1台　5.5kw ⑥エアコン室外機3台	定格出力2.25kw以上 定格出力2.25kw以上 定格出力2.25kw以上 定格出力7.5kw以上	①　事前の届出 ②　【本社】工業地域　第4種区域 （昼　70dB）（朝夕 65dB）（夜間 60dB） （エアコン室外機3台 →事務所2.87kw →食堂　1.86kw →2階　3.21kw　）	→該当せず →該当せず →　○ →該当せず →該当せず →該当せず →該当せず →該当せず
静岡県生活環境の保全に関する条例（施工規制）	①丸のこ盤4台　2.2kw ②かんな盤3台　1.5kw ③帯のこ盤1台　3.7kw ④集じん施設1機　5.5kw ⑤空気圧縮機1台　5.5kw ⑥エアコン室外機3台	すべてのもの		→　○ →　○ →　○ →　○ →　○ →　○
廃棄物処理法	株式会社ﾘｻｰｸへ委託	①　保管の基準 委託の基準	①　廃棄物は自らの責任で適正処理する ②　廃棄物の再生利用等により減量化に努める	→　○ →　○
		②　該当20種の廃棄物	③　国、地方公共団体の施策に協力する ④　廃棄物の委託の基準等を遵守する ⑤　保管場所に掲示板（60cm×60cm）を設置 ⑥　委託先の許可証を確認する ⑦　委託契約書を締結する	→　○ →　○ →　○ →　○ →　○ →　○
		③　産業廃棄物管理票の運用ﾙｰﾙ	⑧　産業廃棄物管理票（ﾏﾆﾌｪｽﾄ）の使用 ⑨　焼却禁止、投棄禁止 ⑩　ﾏﾆﾌｪｽﾄ交付状況（年1回6月末まで）	→　○ →　○ →　○
自動車ﾘｻｲｸﾙ法	所有自動車：　10台 （内６台ディーゼル）	使用済み自動車の引取業者への引渡義務	①　自動車所有者は使用済み自動車を引取業者へ引き渡さなければならない、自動車フロン券の使用 ②　リサイクル料金の支払	→　○ ※1 →　○
消防法	ボンド、塗料等	4類一石（水溶性）400ℓ 4類二石（水溶性）2000ℓ 4類三石（水溶性）4000ℓ 4類四石（水溶性）6000ℓ	①危険物貯蔵所完成検査申請書 ②少量危険物、指定可燃物貯蔵取扱届出書	→　○ →　○
ｸﾞﾘｰﾝ購入法	購買品の一部で実施	基本方針基準あり	事業者の責務 出来る限り環境物品を選択するよう努める	→　○
ﾌﾛﾝ排出抑制法	7.5kw未満 事業用5台	3ヶ月に1回簡易点検	ﾌﾛﾝ排出抑制法でH30.2.16 簡易点検実施	→H30.2.16 ○
ﾌｫｰｽﾀｰ基準	☆☆☆☆	ﾉﾝﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ		
建設ﾘｻｲｸﾙ法		80㎡以上の解体の届出	ﾘｻｲｸﾙの推進	→　○
建設業法	建設業県知事許可	5年毎の更新	届出	→　○
建設基準法		工事ごとの遵守	各種書類の申請	→　○

※1：自動車は原則、下取りとするため、廃棄せず

9_環境上の緊急事態への準備及び対応

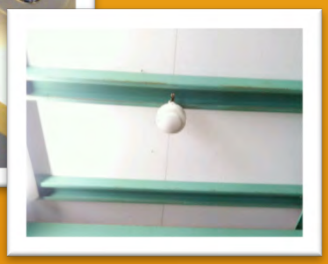
〈緊急事態の想定〉 家具を製作する工場を併設しているため、使用材料である木材を大量に保有している為、火災に対しての備えを心がけている。

消火器

〈有効期限の確認や設置場所の確認〉
使用期限がすぎていないか、決められた場所に置かれているか等確認をしています。

自動火災報知設備

〈定期点検の実施〉



火災訓練

※訓練結果　実施日：2019年10月30日　参加者：全員
結果：手順通り実施できた　（特に問題なし）

10_代表者による全体評価と見直し

見直し日：R1年7月10日

① ヒアリングチェック・内部監査の結果・法令遵守

➜エコアクション21の構築・運用状況は、概ね良好である。

当社では内部監査は実施していない。

② 苦情を含む利害関係者からの重要な情報

➜苦情を含む利害関係者からの重要な情報はない。

③ 組織の環境パフォーマンス

➜組織の環境パフォーマンスは概ね良好。

社員の環境への取組み状況は、パトロールチェック結果により良好と判断。

④ 環境目標の達成

➜環境目標の達成状況は概ね良好である。

⑤ 問題点の是正処置及び予防処置の状況

➜問題点の是正処置および予防処置はない。

⑥ 前回までの見直しの結果に体するフォローアップ

➜代表者による見直しは、今回が初めてであり、前回に対するフォローアップはない。

⑦ 環境関連法規等を含む周囲の状況の変化

➜環境関連法規制の制定・改正・廃止はない。周囲の状況変化も特にない。

⑧ 改善のための提案・その他

➜改善のための提案も特にない。

【見直し事項の有無】

項　　目	確　認	コ　メ　ン　ト
1.　エコアクション２１文書類	■	特段の見直しをする必要はない。
2.　環　境　目　標　・　計　画	■	特段の見直しをする必要はない。
3.　環　境　活　動　計　画	■	特段の見直しをする必要はない。
4.　組　織　体　制	■	特段の見直しをする必要はない。
5.　環境経営システム	■	特段の見直しをする必要はない。
6.　そ　の　他	■	特になし。

【トップマネジメントによる確認・指示】
今回の環境目標は全項において概ね目標が達成出来ていて、特段の見直しの必要はないが、引き続き全社員がコストダウンや業務向上につながるための取り組みに努める事を指示した。今期は前期から懸案の防火消化栓設置に伴い、節水型の便器に変えトイレ移設を行う。また、照明器具も順次LEDに換えていく。

１１_環境への取組

“　MYコップ、MY箸　”を使用しています。

以前休憩時に使用していた紙コップ、割り箸の購入を止めたことにより排出量削減と経費削減にもつながっています。取り組みやすい活動でしたので、社員全員継続しており習慣になっています。

MY〇〇活動は探せば他にもあるのかもしれません。

小さなことの積み重ねがもっと環境に優しいことにつながると思います。

身近なリサイクル活動の継続

アルミ缶のプルタブとペットボトルキャップの分別をしています。
少しずつではありますが、溜まっています。
今後も分別に徹しながら、各自の意識を高め社会貢献につなげるにはを考えつつ継続していきます。

アルミ缶のプルタブを分別の徹底。

ペットボトルキャップを分別の徹底。

〔プルタブのリサイクルの流れ〕

プルタブは回収業者によってリサイクル資源として売られます。

売られた際の売却益が車椅子を買うお金になります。

※プルタブは、船舶や自動車に使われるアルミ素材としてリサイクルされます。

活動開始から、一斗缶(18ℓ)で1缶リサイクル済みで、現在半分集まっています。

〔ペットボトルキャップのリサイクルの流れ〕

ペットボトルキャップは、回収業者によってリサイクル資源として売られます
売られた際の売却益が支援団体への寄付となります

支援団体がUNICEFと連携して、世界のワクチン工場へワクチンを発注します

製造されたワクチンは冷凍のまま空輸で、支援国へ届けられます

支援国のワクチン保管センターで冷蔵・冷凍状態で保管されます

各地の予防接種会場で子どもたちへワクチンを接種します

活動開始から、45ℓゴミ袋で3袋分リサイクル済みです。